

令和5年5月

■一般文学

「ときどき旅に出るカフェ」

・著:近藤 史恵

・出版者:双葉社

海外の珍しいメニューを提供するカフェが舞台の連作短編集はいかがですか？

カフェ・ルーズは月初めの数日がお休み。その間、店主は旅に出ます。旅好きな店主が営むカフェでは、今まで聞いたこともない珍しくて美味しそうな料理やスイーツ、ドリンクが出てきて旅行気分♪そこに来店するお客さんたちの日常に潜むミステリーを美味しい料理とともにさらりと解決します。

ミステリーのように、ヒューマンドラマのような、後味がすっきり読める通いたくなるカフェの物語です。

(対象 一般)

■一般書

「366日の美しい昆虫 ～世界中のムシを1日1匹読みつかもう～」

・監修:須田 研司 文:パズル 写真:アマナイメーヅ他 イラスト:じゅえき太郎

・出版者:三才ブックス

同じルートを何度も繰り返し飛ぶ、カラスアゲハのオス。驚きの交尾戦略で種を増やすミヤマカワトンボは、日本最大のカワトンボ。はねに鮮やかなエメラルド色が浮かぶ、美しい蝶のアオスジアゲハ。赤ワインのような輝きをした、ヨーロッパミヤマクワガタ。

日本国内だけでなく、世界中の昆虫を日替わりで美しい写真とともに紹介しています。身近な昆虫でも知らなかった習性があり、読み物としてもとても楽しい！

初夏の心地よさのなか、野へ、山へ。昆虫探しの手引きにもなる一冊です。

(対象 一般)

■児童書

「すごいゴミのはなし ～ゴミ清掃員、10年間やってみた。～」

・作:滝沢 秀一

・絵:スケラッコ、萩原 まお

・出版者:学研プラス(Gakken)

出したゴミのその先を考えたことはありますか？

清掃工場で燃やしたあとに残る灰や、燃やせないゴミは最終処分場という場所にうめられます。実は、日本の最終処分場はあと20年ほどでいっぱいになってしまいます。このままではゴミを捨てられなくなる！？

作者の滝沢さんは、お笑い芸人でゴミ清掃員。清掃員あるあるや気になるゴミ、日本や世界のゴミ問題・・・ゴミの世界のあれこれをわかりやすく教えてください。

正しく分別する、ゴミ袋をきちんとしぼる、ごはんは残さず食べる。とても身近で簡単なことが、ゴミを減らし地球のためになるみたい。だれもが無関係ではられないゴミのこと。知って考えるきっかけにしてみてください。

(対象 小学中学年から)

■絵本

「こどもかいぎ」

・作/絵:北村 裕花

・出版者:フレーベル館

今日は、大事なこども会議の日。今日の議題は「おこられたときはどうしたらいいか」について話し合います。話はだんだんとそれていって、おとうさんとおかあさんの怒ったときの様子に盛り上がっていきますが…

真剣に話し合うこども達がほほえましく、身におぼえがあるような話にドキッとします。子ども達の会議の結果が気になりませんか？ 親子で楽しんでもらいたいお話です。

(対象 3歳から)